



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月9日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社今仙電機製作所

コード番号 7266 URL <http://www.imasen.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤掛 治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略室長

(氏名) 阿部 隆行

TEL 0568-67-1211

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	57,490	△9.9	1,692	△68.2	1,576	△67.2	493	△81.6
23年3月期第3四半期	63,775	19.3	5,318	61.5	4,811	50.0	2,675	62.5

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △281百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 2,254百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	27.49	24.84
23年3月期第3四半期	149.98	134.63

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	63,973	31,807	48.3
23年3月期	63,308	32,492	49.8

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 30,898百万円 23年3月期 31,552百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	9.00	—	11.00	20.00
24年3月期	—	10.00	—		
24年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,200	△6.7	2,800	△56.3	2,700	△54.1	600	△83.7	33.41

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 武漢今仙電機有限公司、除外 1社 (社名)
(注)詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	18,172,737 株	23年3月期	18,172,737 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	215,281 株	23年3月期	215,263 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	17,957,472 株	23年3月期3Q	17,838,828 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により落ち込んだ企業の生産活動は徐々に持ち直しがみられてきましたが、歴史的な円高の長期化や欧州の信用不安などの影響から依然として不透明な状況が続いております。

自動車業界におきましては、東日本大震災による大幅な減産の影響や、円高の長期化、また、10月に発生したタイの洪水による減産など依然厳しい状況が続いております。

このような経営環境の中で当社グループは、激変する事業環境の変化に緊急避難措置で対応する一方で、中期経営計画「Proud 2nd Stage (Recovery 1-2-3)」の最終年度として、「全ての業務で既成概念にとらわれない改善を進め、最適化された事業を鍛え上げる」を目標に、「スピード」ある事業運営を実現し、成長路線への回復を目指して取り組んでまいりました。

しかしながら、震災による自動車生産の減産の影響が大きく、また、タイの洪水の影響もあり、当第3四半期連結累計期間の売上高は57,490百万円（前年同期比9.9%減）、経常利益は1,576百万円（前年同期比67.2%減）、四半期純利益は493百万円（前年同期比81.6%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(a) 自動車部品関連事業

自動車部品関連事業につきましては、震災を受け主要得意先の自動車生産が大幅に減少したことや、タイの洪水による影響から、売上高は54,289百万円（前年同期比10.4%減）、営業利益は1,719百万円（前年同期比66.9%減）となりました。

(b) ワイヤハーネス関連事業

工作機械関連機器向けの受注は増加しましたが、航空機関連向けの受注が厳しい状況にあり、売上高は1,756百万円（前年同期比5.6%増）、営業損失は49百万円（前年同期は41百万円の利益）となりました。

(c) 福祉機器関連事業

電動車いすの売上が減少したことに加え、新社屋建設に伴う費用が増加したことから、売上高は811百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益は49百万円（前年同期比41.5%減）となりました。

(d) 自動車販売関連事業

国内自動車販売は、震災の影響により販売が減少し、売上高は633百万円（前年同期比10.8%減）、営業損失は35百万円（前年同期は20百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

当第3四半期末における総資産は、63,973百万円（前期末比665百万円の増加）となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金の増加（3,491百万円）、現金及び預金の減少（4,865百万円）などにより、37,823百万円（前期末比445百万円の減少）、固定資産は、有形固定資産の増加（1,388百万円）などにより、26,149百万円（前期末比1,110百万円の増加）となりました。

(ロ) 負債

当第3四半期末における負債は、32,165百万円（前期末比1,350百万円の増加）となりました。流動負債は、1年内償還予定の社債の増加（3,010百万円）、支払手形及び買掛金の増加（633百万円）などにより、27,759百万円（前期末比3,777百万円の増加）、固定負債は、4,406百万円（前期末比2,427百万円の減少）となりました。

(ハ) 純資産

当第3四半期末における純資産は、31,807百万円（前期末比684百万円の減少）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果減少した資金は、400百万円（前年同期は1,758百万円の増加）、投資活動に使用した資金は、3,285百万円（前年同期比31.3%増）、財務活動に使用した資金は、995百万円（前年同期比31.5%減）となりました。

この結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物の残高は4,644百万円と前第3四半期末と比べ2,260百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、400百万円の減少となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益が1,516百万円、減価償却費が2,968百万円であったのに対し、売上債権の増加額が3,545百万円、法人税等の支払額が1,548百万円であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、3,285百万円の減少となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出が3,094百万円であったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、995百万円の減少となりました。これは主として、リース債務の返済による支出が779百万円であったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

10月にタイで発生した洪水により、当社子会社のイマセン マニュファクチュアリング (タイランド) カンパニー リミテッドが浸水被害を受け、操業停止を余儀なくされました。

このタイの洪水の影響に加え、円高や海外の景気減速に伴う受注の減少などにより、平成23年6月21日に公表しました通期の業績予想を修正いたします。

詳細は本日公表しております、業績予想の修正に関するお知らせをご参照ください。

2. サマリー情報 (その他) に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結累計期間より、平成23年4月に資本金の払い込みを完了しました武漢今仙電機有限公司を連結の範囲に含めております。

また、上記のほか、平成23年11月に新たに株式を取得しました株式会社シーマイクロを連結の範囲に含めており、当第3四半期連結会計期間における連結子会社の数は13社となりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

<追加情報>

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号)を適用しております。

(法人税率の変更等による影響)

平成23年12月2日に「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度より法人税率が変更されることとなりました。

これに伴い、当第3四半期連結会計期間の繰延税金資産及び繰延税金負債は、一時差異等の解消が見込まれる連結会計年度に対応した改正後の税率を基礎とした法定実効税率により計算しております。

この結果、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)が4百万円減少し、その他有価証券評価差額金が49百万円、法人税等調整額が53百万円それぞれ増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,825	4,960
受取手形及び売掛金	19,691	23,182
たな卸資産	5,963	5,875
その他	2,791	3,807
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	38,269	37,823
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,057	6,980
機械装置及び運搬具（純額）	5,621	5,512
その他（純額）	8,517	10,092
有形固定資産合計	21,196	22,584
無形固定資産		
その他	344	551
無形固定資産合計	344	551
投資その他の資産		
投資有価証券	3,280	2,645
その他	253	403
貸倒引当金	△35	△35
投資その他の資産合計	3,498	3,013
固定資産合計	25,038	26,149
資産合計	63,308	63,973
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,998	13,632
1年内償還予定の社債	500	3,510
短期借入金	3,332	3,699
未払法人税等	770	234
賞与引当金	1,147	479
その他	5,233	6,203
流動負債合計	23,982	27,759
固定負債		
社債	3,000	20
長期借入金	601	799
退職給付引当金	1,454	1,236
その他	1,776	2,350
固定負債合計	6,833	4,406
負債合計	30,815	32,165

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,548	4,548
資本剰余金	4,281	4,281
利益剰余金	23,544	23,661
自己株式	△108	△108
株主資本合計	32,265	32,382
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	952	632
為替換算調整勘定	△1,665	△2,116
その他の包括利益累計額合計	△713	△1,483
少数株主持分	939	909
純資産合計	32,492	31,807
負債純資産合計	63,308	63,973

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	63,775	57,490
売上原価	53,123	50,492
売上総利益	10,652	6,997
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	2,109	2,086
給料手当及び賞与	1,502	1,569
賞与引当金繰入額	59	65
退職給付費用	55	51
減価償却費	55	64
その他	1,552	1,467
販売費及び一般管理費合計	5,334	5,305
営業利益	5,318	1,692
営業外収益		
受取利息	20	37
受取配当金	35	49
その他	148	159
営業外収益合計	204	246
営業外費用		
支払利息	104	100
為替差損	560	237
その他	47	24
営業外費用合計	711	362
経常利益	4,811	1,576
特別利益		
固定資産売却益	3	0
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	3	1
特別損失		
固定資産処分損	57	20
投資有価証券評価損	2	40
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12	—
特別損失合計	72	61
税金等調整前四半期純利益	4,742	1,516
法人税、住民税及び事業税	1,751	475
法人税等調整額	262	527
法人税等合計	2,013	1,002
少数株主損益調整前四半期純利益	2,729	514
少数株主利益	53	20
四半期純利益	2,675	493

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,729	514
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△77	△325
為替換算調整勘定	△397	△469
その他の包括利益合計	△474	△795
四半期包括利益	2,254	△281
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,215	△277
少数株主に係る四半期包括利益	38	△4

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,742	1,516
減価償却費	2,983	2,968
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△152	△218
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△645	△674
受取利息及び受取配当金	△56	△86
支払利息	104	100
投資有価証券評価損益 (△は益)	2	40
固定資産処分損益 (△は益)	54	19
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,343	△3,545
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△536	83
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,087	976
その他	582	△13
小計	4,822	1,167
利息及び配当金の受取額	55	83
利息の支払額	△102	△103
法人税等の支払額	△3,016	△1,548
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,758	△400
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△44	△21
有形固定資産の取得による支出	△2,098	△3,094
有形固定資産の売却による収入	41	46
投資有価証券の取得による支出	△356	△31
その他	△44	△184
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,502	△3,285
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	346	710
長期借入金の返済による支出	△628	△523
リース債務の返済による支出	△820	△779
配当金の支払額	△339	△377
その他	△13	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,454	△995
現金及び現金同等物に係る換算差額	△150	△169
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,349	△4,852
現金及び現金同等物の期首残高	9,254	9,496
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,904	4,644

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品関連 事業	ワイヤー ハーネス 関連事業	福祉機器 関連事業	自動車 販売関連 事業	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	60,581	1,662	821	709	63,775	—	63,775
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	0	6	1	2	10	△10	—
計	60,581	1,669	823	712	63,785	△10	63,775
セグメント利益又は損失(△)	5,199	41	83	△20	5,303	14	5,318

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品関連 事業	ワイヤー ハーネス 関連事業	福祉機器 関連事業	自動車 販売関連 事業	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	54,289	1,756	811	633	57,490	—	57,490
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	14	0	0	15	△15	—
計	54,289	1,771	811	633	57,505	△15	57,490
セグメント利益又は損失(△)	1,719	△49	49	△35	1,683	8	1,692

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

のれんの金額に重要な変動はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

平成23年10月にタイにおいて発生しました洪水により、当社連結子会社のイマセン マニュファクチュアリング (タイランド) カンパニー リミテッド (12月決算会社) が浸水被害を受け、操業停止を余儀なくされましたが、グループの総力をあげた復旧の取組みにより、平成23年12月より一部製品の生産を再開し、平成24年3月にはすべての復旧作業が完了し、浸水被害前の生産体制に戻る見込みであります。

なお、主に建物、生産設備、たな卸資産等で被害を受けておりますが、保険を付しており、被害額及び保険金額については現在算定中であります。